

あの

Please don't hate me.

あの素晴らしい
愛をもう一度

I still long for the love we treasured,
find me once again.

素晴らしい


Only we share a secret.

愛をもう一度

My life isn't worth living without you.

Stay with me... Stay with me...





もし俺が

オマエは
どんな顔するんだろうな

ヴァイター体になったら

あの素晴らしい
愛をもう一度

なあ、ベル





サタン

ヴァイタ様には
慣れたかり。

困ったことがあれば
なんでも聞いてくれ

力になろう



……

……

やれやれ！

私に
異変が起る



サタン
歩くたびに
足を固めているように
思わせるのが
気掛かりだ。

もしや
ヴァイタ様に
問題が生じて
いるのではないかと
思っています。

……



別にさへ

さうか？
しかし以前のように
痛みを隠す真意は
しないではない

おいまだ
引き留めてんのか
それ

直ちに去ら



！なぜこんな状態に
なるまで放っておいた

こういうもんだと
思ったんだよ

ヴァイタは
歩行するのに
刺さるがんだと

それでは
生息が
できないだろう



次からは
包み隠さず
どんなことでも
話してくれ

私になるべく
その都度サタンに
真相を聞こう

面倒くせえ

サタン？
聞いていいのか？



ヴァイタの
身体に何点など
ひとつもない

輪郭で矮小で非力で
闘争からかけ離れた
存在

今だってそうだ
メギド本家の身で
目的物まで向かえば
どんなに遅いか

わざわざ
二本の足で
地面を踏み歩く
合理性が全く無い

今頃から
戦争改つ排けたら
殺せるぞ！

番いたよ
サタン





そんなもん
集めて
どうすんだよ

もしかして
ベルはそれが
好きなのか？

は？
じゃあなんで

サタン
手を出すんだ

いや？

マイドラル中
どこにでも
集めてるだろ



いらねえ

グワイータは
喜ぶ相手に
これを
贈るそうだ

形式だけだよ
不要なら
捨てて貰っても
構わないさ



……ほらよ



これで
満足したか？



さあ

受け取ってくれ



やはり
私とは違う

耳朶の形も
髪型たる細髪も
瞳孔の輝も
深紅の唇も

オタンはヴィータ体の
なかでもとりわけ
見目が良いのだろう

顔面、優美、可憐……
そういう表現が
適切だ

……
……



その花がという
小さき植物も
私は美しいと感じる

花の優美さを
オタンに重ねたため
共通し増長させるかと
思ったのだが……

オタン
オマエの方が

ずっとずっと
魅力的だ



ヴァイタ体の
見目に差があるって
話か？



俺とベルは
同じヴァイタの
顔型ってやつ
なんだろ

そんなに
違うものか？



大層
外観が異なることに
なんの意味がある？

この花だってそうだ
俺たちがどうして
こんな姿に立たないかに
意味を見出す必要がある？

合理性に欠けるぜ
俺は
理解に苦しむ



サタン
物事の
ひとつひとつに
意味を求めることが
間違っているのだ

私は現段階で
『共感性』とは
感情の糸白を
感じむものだ
と手懸している



意味が無いことを
羨しむ？？
つまりは生産性が無い
ということだ

俺にも
理解出来るように
話せ
ベル、オマエは
いつも話が
回りくどいんだ

ありのままを
享受するのさ
サタン

この場合
深く思考することは
かえって交信の
認識を阻害する

そう
例えば――





私と過ごす
この貴重な時間を

私に
触れられる……とか

どう感じるの？
サタン

正直に
聞かせてくれ



……この眼だ

ベルの
悲しむような
この視線が……
どうしようもなく苦手だ



胸の中心が
くすぐったいような、
妙に落ち着かない
気分になる

……嫌では、
ない……

…そうか

帰ろう
サタン

ヴィータの身体は
不便だ

足と手は一本しか無い
頭はたつたひとつだけ

歩けば「滅れる」
被れりや眠くなる」
それなりに腕も滅る」

どうしようもなく
胸が溶ける目もあれば
穴が空いたように
切なくなる目もある

俺が
知らないことばかりで
少し腹が立つ

だが――

べルが
「笑うと
俺も嬉しい

どうして
「嬉しい」と感じるんだ？
俺にはなにひとつ
関係ないのに



サタン

今からするのは
グイータの
新しい関係で
交わされる行為だ

このまま
進めてしまっ
ていいの
わらないか？

ああ



絶対嫌だ
っえーよ！

グイータ体の
感覚を失うのは
致命的だって
オマエが言ったんだろ

無理じゃ
絶対ありえねえ
わかってんのかべル！

大丈夫だサタン
ここは戦場ではない

ましてオマエを
害するよ様な
行動をとり
恥になんの神がある？

それは
そりゃあ
……



では目を
閉じてくれ

はあ!?



……わかった

コイツって、
肝心なところが
たまに抜けてる



私を
信じてくれ
サタン

決して
思わしいことは
しないよ約束しよう





……呼吸が乱れた

それは見ればわかる

誰が悪い……

それもあるわかる

あとはい……ここが少し早くなったぞ

！そうか

私もさ

今もなお鼓動が早く落ち着きが無い



ははっ僕たち同じだな

ああ私としても安心した

サタンに頼まれやしないかと

なんでだ？ なる理由も無いだろう

なあ

さっきのキ……キ……

キスか？

そうだもっとしたら理解できるのか？

それはわからない

とにかく何事も迷走してみよう

もう一度だ

いつかわかる日がくるのだろうか

わかるといいよななあべル





ベル君を

今日は
同様の命を
無いはずだろ？

いや魔法はもう
使回すしておかしな
物の知りも
どうしてんだか...

ベルがいない間も
ベルのことを
考えている自分がある

まだ
俺が通じや
るんないってしん



運れるかと
思ってたまま
来ちゃったが

でも
急いでたしな...

水でも
浴びてくれば
良かったぜ

ん？
こんなところ
ワイヤーがあるぞ

まさか
下駄ミキドだろ

みんな
さあ逃げろだ
俺もさっさと
脱走しよっぜってあ



邪魔すんなよ

急いでんだよ
こつちは...

こいつ
まさかサタンかけ
なせワイヤーでけ

大層同盟だぞ
勝てるかけ

いやあのサタンと
戦うできるんだ
俺はやってやるぜ！

また
キスしてやつを
してほしい

二本の腕で
強く
抱き締めてほしい

もっと俺に
触って欲しい

早く

早く

早く



四六時中
浮ついてら

ベルもこんな気分になつたりすんのか？
俺だけじゃねえのか？

これはっかりは
確認しようが
ねえな…

すまないサタン

遅くなつて
しまった…！



……
ベル、

……

なんだ！
その恰好

いや、
これは――

あ……

……
一瞬も早く
サタンのお顔が見たくて
急いだのだが

……途中で、
戦争をだ、
止められて

話し合いをする
余裕が……無かった、
それで、すげえ……

はは、

みっともないな、
恰好がつかない……

……俺も

命をなめた……

ぶた



ベルー！

私もだ
サタン、

会いたくて
会いたくて
仕方が無かった……！

ずっと
会いたかったぜ、
ベル……！

ベル、
ベル、ベル……っ！





あーベル、
ベル……

はあ



あ

ハ……ン

はあ



ベル、
ベル……

サタン、
サタン、

サタン……



早く
教えてくれよ

俺はずっと
待ってたんだぜ
ベル

ベル、

っあ、ベルの
魂が、流れ込んでくる、
俺の中に、っ、

繋がってる、
魂が、あ、

は、

ベルと
俺の……っ、！

はあ、

はっ、

っあ、
ああっ……

ベル

サタン、

ベルっ

サタン

サタン、！

ベル、
ベル……！

サタン

サタンのすべてが
欲しい、……っ、

欲しい、すべて、
オマエの……

くれないか、私に
……サタン、お願いだ！

求めてくれ、
私を……！



いいぜ
ベル

くれてやるよ
俺の全部

だからベルの全部も
俺に寄越せ

魂も！全てだ！！
ベル！！

ああ
サタン

あげよう
オマエに

全部
！



ああ、
ベル、

俺の奥、
たる、ベル、

私もだサタン、
なにか、速くから、
きそうだ、つ……

つア、

あべ、る、
ベル、ベル、
ベル、

ふ、ああ……っ……



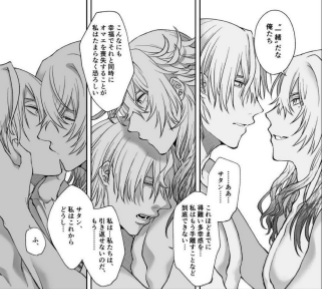
サタン

サタン、
サタン……
サタン……

サタン……

……

……



「一緒」だな
俺たち

こんなにも
幸福でそれと同時に
オマエを喪失することが
私にはたまたまなく恐ろしい

……ああ……
キタ……

これほどまでに
海難い多感感を……
私はもう手離すことなど
到底できない……

私は……私たちは、
引き渡さないのだ、
も……

キタ……
私はこれから
どう……

小



ありのままを
受け入れると
俺に教えたのは
ベルだぜ

俺はベルを受け入れて
ベルも俺を受け入れた

それで
いいだろう？

俺だけに
執着してろベル！
他に余計な事
考えんなよ

……はは、
そろりだキタ

聞くほど単純で
明快な答えだ

だろ？



好きだサタン
好きだ、

好きだ！

これ以上の好きを
伝えられる言葉が
グアイガルドには
あるのだろうか

俺たちで
覆せばいい

覆前そう
だろ？

クク
私達だけの
絆か？

それは
羨しみだ

ああ
誰も知らない
やつだ

そうだ
俺たちの魂は
俺たちだけの
ものだ

誰にも教えない
誰にも渡さない

カトルルズにさえも——



……あ……



やはり何度でも
美しいが！
命懸けは
一段と素晴らしいな

サタン
今度はどう見える？

「綺麗」だ

不思議な
もんだな

前は
さっぱり
わからなかったが

頭で理屈を
考えるよりも先に
魂が揺さぶられる

これが――

特別な共感性
ってやつか？

ベル



サタン

——
ベル?

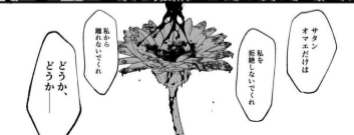


私はこの決断が、
悪徳が、運命が、
ひとつとして
間違っているとは思
わない。

そのうえで全てが
お前のほうに
勝られたとしても

とても困難な道では
済まされない。
途方の無い罪を
犯そうとも

私が、
私でなくなると
しても



サタン
オマエだけは

私を
断絶しないでくれ

私から
離れないでくれ

どうか、
どうか、
どうか

そばにいてくれ
サタン

頼む

頼むから……



——ン

サタン様



！

晴新見ツメテ
イラツシヤッタノデ
オ好きナノカト

誰イマシタカ？



どうした
犬ちゃん

グァイガルドの
調査に關して
報告か？

イエ
ソウデハ
ナイノデスガ！

コレヲ





ベルゼブブは悪魔
フライナイツ
最近マタ勢力ヲ
伸バシタト聞キマス

マツタタ
悪クシイ

シカン
同ジ八咫鳥ノ
サタン様ニ
挨拶スラ無イトハ

ヨモケ物質ツイテ
イルノカマ
ク・ク・ク

「おはようございます」

「私が死んで
なくなったとしても」

ああ

俺はずっと
そばにいるから

スレ……

サタン様？

いや
なんでもねえ

「ご苦労だったな」

また何かあったら
伝えてくれ

カシヨマリマシタ



あの素晴らしい
愛を

もう一度





サタン

私と
「特別な其感性」を
得よう！



……しつこい！

なんなんだよ
オマエ

毎日！
毎日！
毎日！！



いや
最初からサタンとなら
より良い関係を
結べると思っていた

最初から
グワイイタ体であれば
誰でも良いと
いうわけでもない



普通に見える

グワイイタ体になれと
言われて
「はいそうですか」と
なってる
ムズイがあるか？

大体なんでもなんでも
グワイイタ体してる間なら
マモンだっているだろー



サタンは
彼の者とは違う

友人以上の
もっと別な……
この種雑貨者な
境界がなにか
知りたいのだ

サタンが
グイータ体になれば

もしかしたら
私と同じ情念を
抱くのかもしれない

.....
そんなのオマエの
勝手だろ
別に理解したく
ねえんだよ

そうか

では
明日もまた来る

来んな!!

ベルゼブフー！
ベル

いつも
無言で非力で愚鈍な
グイータの肉の層で
過ごしている彼をケマ

ノザドには
己の魂の反映ともいえる
身体を調音する必要が
あるというのに

その意志すら放棄し
ついに自分と同土になれと
提示してきやがった

今日は
来なかつたな
ベル

今日も
来なかつた

来ない！



アイツはまた
俺に会いに来るか？



もし俺が
グイーま体に
なったら……

……でも



今日も美ねえ
きつともう
諦めたんだろ？

結局はその程度の
覚悟だったっつー
ことだ



……っ
あ
くそっ!!

たしか
フォトンを集めて……
内部に構築して
それから……



その時オマエは
どんな顔
するんだろ？な



すっかり
日が
暗ってしまった

サタンはまた
同じ場所を
歩いたのか？

グイータは相手に対して
頼みごとをする時は
贈り物を持参すると聞く

軍団長からの
褒賞とはまた
相違があると聞き

今の今まで
思案を巡らせていたが…



私はこれが
美しいと思った



だからサタンに
贈りたいと
思う

しかしあの本人は
理解に苦しむかも
しれないが…



いつの日か
サタンに私の想いを
受け取って欲しい



サタン
運くなってしまった

ベルゼブバだ
久方ぶりに



会いに







なんだよ
その「願」!



…はははっ



オマエはサタン…

…なのか?

オマエはサタン…



聞抜けヅラ!

………



他にいるかよ
こんな物好き！

オマエの
せいだぞ…ヘル

礼くらのしるよ

……
……っ！



サタン!!



ああ
ありがとう
サタン！

私の後徳を
承諾してくれたことに
深く感謝する！

あー
うるせえな
離れろよ!!

……、すまない、
つい興奮してしまった

これから
サタンと共に
異感性を求め合うことが
できるかと思うと……
非常に嬉しいのさ

その共感性？
ってやつは
よくわからんが……

オマエと
一緒にいたら
理解できるもん
なのか？

……騙してるわけじゃ
ねえよな？



勿論だ

これから
始まることは

善いでは
メギドラル史を
変える大きな一歩と
なるかもしれない

私達が行きつく先の
空想に果たして
何かあるのか

それに
名を付けることを
誰か高としてやろうでは
ないか



さあ
サタン

私と
特別な共感性を得よう

なあ、俺がヴィータ体になつたらオマエはどんな顔、するんだろうな？



MEGIDO72

unofficial fanbook

Beelzebub × Satan